

旧山形師範学校講堂保存活用実行委員会

直近2か年の事業報告（令和5年度・6年度）

【令和5年度（2023年度）】

目的：

山形県指定有形文化財である旧山形師範学校講堂の国重要文化財への格上げ追加指定を最終目的とした地域住民および県民全体に対する啓発と、喫緊課題だった屋根修繕工事の実施を目的とした。

主な活動：

- 2023年6月：実行委員会設立（有志を中心に組織）
- 2023年9月：第1回シンポジウム「明治・た意匠期の講堂、保存と活用をめざそう」開催（参加者約60名）
- 2023年11月：山形県への修繕要望活動（県文化財保護課、教育局訪問、県教育長・県知事への要望活動実施）
- 2024年2月：講堂屋根への養生シート設置（県事業として実施）

成果・評価：

- 旧講堂の歴史的価値を広く周知するため、シンポジウムを開催し、地域住民や関係団体への情報発信活動を行いました。新聞報道等により、認知度が向上。
- 講堂屋根への養生シート設置(雨漏り対策)が実現し、保存に向けた第一歩を記録

【令和6年度（2024年度）】

目的：

文化財の保存と地域文化振興を両立する活動として、講堂および周辺施設・地域の価値を再発見・発信するイベントの準備と申請活動を進めている。

主な活動：

- 2024年4月：県に知事から要請のあった調査報告書提出
- 2024年9月：第2回講堂活用ワークショップ「活かそう、広げよう、語り合おう」（参加者約60名）
- 2025年3月：第3回シンポジウム「講堂の価値と三島通りの魅力」開催（参加者約60名）
- 2025年3月：前庭を活用したイベント企画の立案・コミュニティファン登録申請に向けた規約整備、事業整理

成果・評価：

- 連即したワークショップやシンポジウムの開催により地域住民や関係団体への啓発の深化
- 旧講堂・前庭を活用したイベントの企画・準備の加速化
- 保存活用の機運醸成と連携強化
- 建築士会や地元高校連携による講堂の図面作成への着手（準備）
- 山形県「未来に伝える山形の宝」事業への登録申請準備

この2年間、地域の文化・教育遺産である旧講堂を未来に引き継ぐため、段階的かつ着実に取り組んできました。今後もより多くの関係者と連携し、保存活用の具体化と実現に向けた活動を加速させていきます。